



山崎 忠弘 議員  
(令和新年会)

## 問 町民のための医師養成奨学金を

## 答 現時点で、創設する考えはない

**問** 医師不足解消のため、町の力で医師を育て、その医師が町に戻り、山田町民のための医療に携わる制度が必要と考える。そこで、町民のための医師を養成する奨学金制度をつくるべきではないか。

**佐藤町長** 県国民健康保険団体連合会が事業主体となり実施している市町村医師養成事業に対し負担金を支出している。この事業により、県内及び宮古圏域の公的医療機関に配置される奨学金養成医師は年々増加し成果が出ていること、また当事業により県全体で取り組むことが効果的であると考えることから、現時点で、制度を創設する考えはない。



県立山田病院では内科・外科医師を募集しています

## 問 防災士の計画的な育成を

## 答 増やす取組を進めていく

**問** 地域防災力を強化するための対策として、自主防災組織のリーダーとなる人などを計画的に防災士として養成していくべきではないか。

**町長** 防災士は防災に

関する専門的な知識や技能を有し、災害発生時の活動などでの重要な役割を担うことが期待されることから、地域防災力の強化に向けて防災士を増やす取組を進めていく。

## 問 「ふれあいパーク山田」の今後は

## 答 道の駅再登録に向け改修工事行う



授乳やオムツ交換ができる子育て応援施設が設置されます

**問** 「道の駅」の指定を解除された産直ひろば「ふれあいパーク山田」の今後の役割・あり方をどのように考えているか。

**町長** 産直ひろば「ふれあいパーク山田」は、特用林産物のシイタケやマツタケを始め、様々な農林水産物や特産品を提供しており、観光客はもとより地元住民にとっても日々の生活に欠かせない大切な施設となっている。引き続き、南方面から

のゲートウェイとして船越半島の魅力ある観光資源を生かした取組を推進していくとともに、高台の立地条件から防災面においても重要な役割を担う施設として整備を進めていく。なお、「道の駅」再登録に向け、要件である子育て応援施設などの時代のニーズに合った改修工事を行うとともに、登録申請の手続きや時期について、三陸国道事務所と協議を進めていく。